

福岡次世代社会システム創出拠点

社会ニーズ主導型開発による新成長産業の発展促進

総合調整機関

財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
〒814-0001
福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33
TEL092-832-7155

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…福岡先端システムLSI開発拠点推進会議 他
- 学…九州大学、九州工業大学、北九州市立大学、福岡大学、早稲田大学、九州先端科学技術研究所 他
- 官…福岡県、北九州市、福岡市 他
- 金…日本政策投資銀行、日本政策金融公庫 他



プロジェクトディレクター
大津留 榮佐久

略歴：日本TI(株)、ソニーセミコンダクタ九州(株)、九州大学特任教授等を経て現職。その間、主に半導体技術経営や事業開発等に携わる。

知的クラスター創成事業の取組等により開発成果の実用化や人材育成、開発環境の充実化が進み、福岡に国際的なイノベーション拠点として発展していくために必要な基盤が定着した。本プログラムにより、異分野融合と社会ニーズ主導型開発モデルの確立を通じて世界が直面している課題に迅速に対応し、アジアをリードする世界トップクラスのイノベーション拠点の形成を目指していく。

地域イノベーション戦略

本地域では、これまでに育成してきた先端半導体をはじめとする新成長産業の国際競争力をさらに高め、アジアを中心とした海外の発展エネルギーを積極的に取り込むことにより、アジアをリードする世界トップクラスのイノベーション拠点「福岡次世代社会システム創出推進拠点」の形成を図る。そのために、高度情報社会、低炭素社会、健康・長寿社会等の世界が直面している課題に対応し、課題解決を目的とした多様な次世代社会システムの開発を積極的に実施し、「社会主導型研究開発モデル」の確立に取り組むとともに開発成果の国際標準化を強力に進める。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：九州大学、九州工業大学 他）

13名の域外研究者を6つの大学等研究機関に招へい・配置し、将来必要となる次世代社会システムを洞察し、高度情報化社会、低炭素社会、健康・長寿社会等、世界が直面している課題等に対して、半導体技術を活用してその解決に資する研究開発を行う「社会ニーズ主導型研究開発」（11テーマ）に取り組んでいる。

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：(財)福岡県産業・科学技術振興財団）

近年のモバイル端末の高度化や爆発的な普及・進展を支えているのは、LSIチップの高度化に加えて組み立て（実装）技術による小型化、高密度化、低消費電力化である。社会人技術者の新人教育や再教育を目的に地域で運営している福岡システムLSIカレッジにおいて、実装技術習得への要望の高まりを受けて、本技術を構成する各種地域を横断的に教育可能な人材育成プログラムを開発・実施している。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：(財)福岡県産業・科学技術振興財団）

地域連携コーディネータの配置により、大学等研究機関や企業からの情報収集・整理・共有によるシーズとニーズのマッチングのほか、次世代の社会システムを洞察した先見性のもと異分野との融合・連携等による新規プロジェクトの開発を行っている。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：(財)福岡県産業・科学技術振興財団）

LSI技術は微細化技術に依存することなく、電子機器の小型／薄型化・高性能化・低消費電力化・多機能化を実現する方法として部品内蔵基板技術やシリコン貫通ビア技術による三次元実装技術が世界的に注目されているが、中小企業等が単独で研究開発を行うことは、高額な設備投資・研究開発効率の観点から困難である。これらの研究開発・試作を行うための最先端機器を保有している三次元半導体研究センター（福岡県糸島市）において、地域に広く開放できる体制を構築するための技術支援を実施している。

福岡次世代社会システム創出推進拠点

国内外社会ニーズに基づく社会ニーズ主導型開発モデルの構築



地域のポテンシャル
・先端半導体では、アジアをリードする世界トップクラスの拠点（企画・設計・試作・実証実験等の評価を主に水平分業受託）
・多様なクラスターの充実した地域主導中核研究開発拠点施設
・国内外技術者や域内大学院生等を対象とした高度人材育成